



## 青果物湯輸出産地セミナー&マッチング in鹿児島 2023



有限会社 かごしま有機生産組合  
海外事業部 福元飛勇真



# かごしま有機生産組合

Kagoshima Organic Farmers Assoc.

有機農業と自然生態系に調和した生き方・暮らし方を広げたい。

「有機農業に取り組む生産者の輪を広げよう」と1984年、有機農産物の組合としてスタート。

今では、160名を超える生産者の団体となりました。

## 企業プロフィール



組合代表	大和田 世志人	
所在地	鹿児島県鹿児島市五ヶ別府町3646	
生産農家	162戸	うちJAS有機認証済み102戸 認証済み圃場面積・約275ha (2019年1月時点)
年間栽培品目	野菜約100品目 果樹(有機グレープフルーツ・有機ポンカン等) 約20品目 有機米・有機黒米・雑穀・有機紅茶・緑茶など	人参 約350t じゃが芋 約200t さつまいも 約450t、 大根 約15万本……他多数
事業開始	1984年 (昭和59年)	
年間事業高	8億1千万円 (2020年9月時点)	





# 沿革 設立後37年 これまでの歩み

Kagoshima Organic Farmers Assoc.

**組合立ち上げ**  
県外諸団体へ出荷開始

1984年

**法人設立**  
「有限会社かごしま有機  
生産組合」誕生

1991年

**直営店オープン**  
地球畑西田店オープン

1992年

**出荷センター完成**  
新事務所 & 出荷  
センター完成

1993年

**宅配事業開始**  
県内消費者向け野菜  
セットの宅配事業開始

1995年

**地球畑カフェオープン**  
地球畑カフェ「草原をわたる船」オープン

2007年

**JICA草の根協力**  
ネパール事業スタート JICA草の根技術  
協力(有機栽培指導)

2017年

**ネット通販オープン**  
ネット通販事業スタート

2013年

**喜入農場始動**  
鹿児島市観光農業公園  
内に喜入農場スタート

2012年

**有機農業  
支援センター完成**  
鹿児島有機農業支援センター・  
育苗ハウス完成

2009年

**直営農場始動**  
大口農場スタート、  
地球畑谷山店オープン

2008年

**アジア輸出開始**  
アジア輸出開始、  
鹿児島県特産品協会理事長賞受賞ベビーフード

2018年

**中東輸出開始**  
中東輸出スタート、  
農林水産大臣賞受賞

2019年

**JICA案件化事業採択  
(ベトナム)**  
調査の準備を開始

2020年

**ヨーロッパ輸出開始**  
ヨーロッパ輸出スタート

2021年



# 2021年のプレスリリース

Kagoshima Organic Farmers Assoc.

## 南種子町と有機農業を軸とした地域活性化に関する包括連携協定を締結。

2021年12月20日に、南種子町と有機農業を軸とした地域活性化に関する包括連携協定を締結  
「有機農業の普及を図るとともに、荒廃農地の復旧や新規就農者の確保を通じて地域の活性化を図ること」及び「有機農業で持続可能なまちづくりを目指すこと」を目的とします。



### 連携事項

1. 有機農業の普及
2. 有機農業に係る技術支援・人材育成
3. 有機農業を軸とした魅力ある街づくり
4. 荒廃農地の普及や新規就農者の確保
5. 地域自給ネットワークづくり
6. その他、持続可能な町づくり、食と農とくらしを守るために必要な事項



# 主な事業の内容

Kagoshima Organic Farmers Assoc.

- 01 生産事業**

生産農家は奄美大島、種子島、屋久島を含む県内各地に広がっています。  
また、鹿児島県内に留まらず熊本・宮崎にも生産農家があり、年間を通して生産・出荷を行っています。
- 02 卸売事業**

卸販売として、北海道から沖縄まで日本各地に発送。  
生産者からの農産物を当組合の販売事業として全国各地に出荷・販売を行っています。
- 03 小売り事業**

鹿児島市内のかごしま有機生産組合直営店「地球畑」 3店舗にて有機野菜や加工品等、こだわりの商品を販売。  
地球畑カフェ「草原をわたる船」では有機野菜をふんだんに使用した料理やサラダバーを御用意しています。
- 04 有機農業技術支援**

2009年より有機農業技術支援センターを設立し、有機農業を志す生産農家のバックアップと、研修生の育成および有機種苗の供給事業に取り組んでいます。
- 05 有機農産物加工事業**

地元の有機食材を活かし「素材に負けない、加工でごまかさない」商品作りに取り組んでいます。  
2013年、自社プライベートブランドを展開、消費者目線で、喜ばれる商品作りを行っています。
- 06 インターネット通販事業**

旬の新鮮なお野菜を産地直送でお届けしています。どの町にでもわたしたちの作った有機野菜が購入できる、生産者の想いを届けるために2015年に地球畑公式オンラインショッピングを立ち上げ多くの有機野菜と有機加工食品を販売しています。
- 07 海外事業部**

1000年続く農業を、土地だけではなく地域社会に貢献することをビジョンとしているかごしま有機生産組合。  
現在、輸出国9か国ではありますが、今後、輸出だけでなく、現地案件調査や海外の人と積極的に交流を図りつつ、有機農業の発展に力を尽くします。

# 農産物紹介 年間野菜カレンダー(一部抜粋)

Kagoshima Organic Farmers Assoc.

## 根菜類

● 出荷が多い ● ほどほどにある ● 少量見込み

品目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人参	●	●	●	●				●	●	●	●	●
じゃがいも	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
玉ねぎ	●	●	●	●	●							● <small>中旬から</small>
里芋(白芽)	●				●	●	●	●	●	●	●	●
里芋(赤芽)								●	●	●	●	
紅系さつまいも					●	●	●	●	●	●	●	●
黄金千貫芋							●	●	●			
紫芋						●	●	●	●	●	●	●
安納芋(紅)						●	●	●	●	●	●	●
ごぼう			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
大根	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●
かぶ	●	●						●	●	●	●	●
しょうが	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
にんにく(生含む)	●	●	●	●	●	●						
らっきょう	●	●	●	●								●

## 果菜類

● 出荷が多い ● ほどほどにある ● 少量見込み

品目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
南瓜			●	●	●			●	●	●		
なす			●	●	●	●	●					
薩摩白なす			●	●	●	●	●					
きゅうり		●	●	●	●	●	●					
トマト		●	●	●	●							
ミニトマト		●	●	●	●							
ピーマン			●	●	●	●	●					
ししとう			●	●	●	●	●					
そら豆	●	●	●									●
インゲン		●	●				●	●				
枝豆			●	●								
にがうり			●	●	●	●	●					
オクラ		●	●	●	●	●	●					
とうがん					●	●	●	●				
スイートコーン			●	●								
ズッキーニ		●	●	●				●	●			



## 生産部門 直営農場

Kagoshima Organic Farmers Assoc.

鹿児島県の北に位置する大口(伊佐市)、知覧農場の2箇所に農場を持ち、その土地や気候に合った野菜を栽培しています。有機農産物の更なる普及、生産者の高齢化に伴う人手不足に対応出来るよう、スタッフが日々生産に励んでいます。

大口農場、知覧農場

スタッフ／8名

栽培面積／8 ha

主な栽培品目（年間出荷量）





## 私たちの加工商品にかける想い

Kagoshima Organic Farmers Assoc.



組合生産者の有機野菜をつかった加工品ブランドが「地球畑Original」です。化学調味料、保存料等を使用しない。素材を活かし、加工でごまかさな商品作り。自社工場は全国的に希少な有機JAS認証取得工場です。

国産有機農産物の生産量は未だ1%にも満たず、それを原料にした有機JAS加工品はごくごくわずかな貴重なものです。商談会でも毎回関心の高まりを感じますし、国産有機を求める声は海外からも届きます。誰もがオーガニックなライフスタイルを「選べる」社会を目指します。

商品としては、オーガニックベビーフードをはじめ、乾燥(フリーズドライ)有機野菜を用いて当社ならではのストーリー性ある加工品をグローバル・フードバリューチェーンと位置付けて商談を実施しバイヤーへ提案を行っています。

かごしま有機生産組合は安全でおいしい有機農産物の生産・販売に取り組んできた。それは消費者の生活や健康が、より健全なものであるようにとの願いからだった。有機農産物の作り手と売り手は、相互に理解し合い、思いを共に連携していく。

生産から輸出までの一貫した取り組みを行う中で、加工品に関しては、今後需要の変化に対応した商品づくりを行い、輸出に対応した認証、まずはHACCP工場として新加工場建設を行う。

地球畑の  
オーガニックベビーフード

有機米のおかゆシリーズ

有機米と旬の有機野菜を使った、  
素材の味をそのまま味わえる離乳食です。  
おうちで手作りしたような、  
素材本来のやさしい味わいです。



# オーガニックベビーフード

Kagoshima Organic Farmers Assoc.



「おいしくなあれ」という造り手の愛と熟練の技で、オーガニックベビーフードは少しずつ身近なものになってきています。全国の自然食品店、オーガニックスーパー専門店でも既に展開されています。毎月多くのベビーフードが赤ちゃんのもとに届いています。出産や子育ては有機JASにふれる大きな機会です。「身体に良いものを与えたい」親の願いを叶える特別な商品になっています。

オーガニックベビーフードの例：「有機野菜のおかゆ」、「有機ベビーフード（紅はるか、安納芋）」など



## 冷凍焼きいも

Kagoshima Organic Farmers Assoc.



農薬を使わないで栽培した鹿児島県産の安納芋や紅はるかを、蜜があふれるまでじっくりと焼き上げ、急速冷凍でおいしさを閉じ込めました。お召し上がりの際は、お好みで温めるだけ。焼き芋が食べたいけど、わざわざ焼くのも面倒・・・という方におすすめです。

お子様にも食べやすいミニサイズの安納芋を使用しています。

特徴ある甘みがやみつきになります。そのまま食べる「焼き芋アイス」としてもおすすめです。



# 海外事業展開

Kagoshima Organic Farmers Assoc.

輸出国10カ国



Hong Kong



Macau



Kuwait



U. A. E.



Thailand



Singapore



Taiwan



Malaysia



Germany



United Kingdom

海外市場獲得のチャンスととらえ、日本で有機農業が盛んな鹿児島県を中心に、有機JAS認証農家も165名を超えた私たちは、近隣の東アジアやA S E A N地域に「1000年続く農業」を、海外へ対してどのような形で貢献できるか、ビジネス事業も含めた現地調査を海外の人と積極的に交流を図り、国際的な戦略を展開しています。

有機農業において人の健康や環境保全の理念がグローバル経済をより良い方向へ導き、世界全体がいきいきと暮らせる社会基盤づくりに向かうよう取り組んで参ります。

## <輸出実績のある有機野菜>

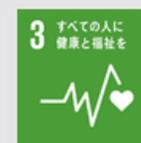
甘藷、じゃが芋、玉ねぎ、ごぼう、おくら、南瓜、ブロッコリー、大根、キャベツ、白菜、ピーマン、ほうれん草、河内晩柑など





## ベトナム国における持続可能な有機農業 一貫体制構築のための案件化調査

かごしま有機生産組合(鹿児島県鹿児島市)



### 対象国農業分野における開発ニーズ(課題)

- 農産物の安全性の低さ(農薬や化学肥料の使用量増大)
- 農産物の生産コストの高さ(農薬などの投入材の増大)
- 農産物の流通過程での品質劣化
- 有機農産物に対する消費者の認識及び信頼性の低さ

### 提案製品・技術

- 有機農産物の生産～流通～販売までの一貫したサービスの支援、即ち「地球畑方式」である。
- 「地球畑方式」には、有機農産物の高度な生産・加工・流通・販売技術、生産者の組織管理及び生産・販売体制管理、品質保証制度の開発、有機農産物の普及・啓蒙、社会的弱者のエンパワーメントが含まれる。

### 本事業の内容

- 契約期間: 2022年9月～2023年10月
- 対象国・地域: ダクラク省クムガー郡、ハノイ市、ホーチミン市
- カウンターパート機関: ダクラク省農業・農村開発局、郡人民委員会
- 案件概要: 「地球畑方式」導入によるビジネスモデルの開発に係る案件化調査。有機農業により契約農家の生産コストの低減や販売収入の向上、また流通における鮮度保持に係るノウハウによる生産者及び当社の更なる収入の向上を目指す。更に、高度な加工技術・ノウハウや販売方法の多様化(直営店、卸販売、EC取引)により高収益モデルの確立が期待される。



直販店(地球畑)の店内

### 開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

- 「地球畑方式」を武器に、主に調査対象地域の一般消費者から始まり、大都市の消費者、また将来的には近隣諸国・日本の消費者をターゲットに、有機農産物及び加工品の販売を行う。
- 現地法人(外資・独資)を設立し、ビジネスパートナーとなる日系企業2社と連携し、お互いのマーケティングに係る技術・ノウハウ等のリソースを有効活用し、安定した経営及び高い収益力を目指す。

### 対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

- 当社の契約農家がコスト削減や収入の向上といったメリットを享受でき、貧困削減につながる。
- 有機農産物の生産及び先進的な流通技術の導入は、一般市民の食の安全安心や健康・福祉向上に寄与する。
- 社会的弱者のエンパワーメントにより、包摂性の高い社会造りに貢献する。
- 収益性の高いビジネス展開の推進により、関連業界への経済的インパクトが期待される。



# 「わたしたちの志」

Kagoshima Organic Farmers Assoc.

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



## オーガニックで未来をつなぐ

あまねく生命が共存・調和する、かけがえのない地球を  
未来へつないでいきます。

つくる人、つなぐ人、食べる人がその恵みをわかちあい、

いきいきと暮らせる社会をめざします。

## 有限会社 かごしま有機生産組合

12 つくる責任  
つかう責任



13 気候変動に  
具体的な対策を



14 海の豊かさ  
を守ろう



15 陸の豊かさ  
を守ろう



16 平和と公正を  
すべての人に



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう

